

## 平成28年度広報部会報告

平成28年12月15日

広報部長黒川正道

広報部会を開催しましたので、規定により報告いたします。

日時：平成28年12月10日18:30～

参加者：黒川、道越、長田、太田、山田、山本、堀、中越、計8人

### 1、HP関係の状況情報共有と今後の課題等

#### (1)アクセス数の推移

(目標：170アクセス/日を維持しつつ、180アクセス/日を目指す。)

- ・ 4. 14：390,000カウント (56日間で1万カウント=179カウント/日)
- ・ 5. 29：400,000カウント (45日間で1万カウント=222カウント/日・過去最短)
- ・ 7. 1：ホームページ開設15周年：406960カウント (この5年間は平均134カウント/日とその前の5年間から倍増)
- ・ 7. 14：410,000カウント (46日間で1万カウント=217カウント/日)
- ・ 9. 4：420,000カウント (52日間で1万カウント=192カウント/日)
- ・ 10. 19：430,000カウント (45日間で1万カウント=222カウント/日)
- ・ 12. 11：440,000カウント (53日間で1万カウント=189カウント/日)
- ・ 6万カウントを297日で、平均202カウント/日、年度末までには200カウント/日は切り、190カウント/日程度になる。

#### (2)会員専用ページのアクセス数の推移

- ・ 7. 2：4,000カウント (151日間で千カウント=7カウント/日)
- ・ 10. 9：5,000カウント (99日間で千カウント=10カウント/日) 国体速報が貢献

#### (3)更新件数の推移 (理事会報告ベース) この間269件/222日=平均で1日約1.2件更新

- ・ 4/1~8/15：162件 (会員専用11件、70年史13件含) の更新実施。(4/1~8/15：137日⇒平均で1日約1.2件更新)他に事務局からの情報42件更新。
- ・ 8/16~11/8：107件 (会員専用11件、70年史27件含) の更新実施。(8/16~11/8：85日⇒平均で1日約1.3件更新)他に事務局からの情報13件更新。

#### (4)これまでの主な改善事項等

- ・ 平成28年度Ver18.1UP3/21
- ・ 会員専用ページに「大会速報用掲示板」開設3/21
- ・ トップページの弓道教歌チェック完了3/23
- ・ 会員専用ページに「70年史誌投稿進捗管理ページ」開設3/30
- ・ メーリングリストメンバー一覧ページ設置 (動画メニュー⇒周知メニューに変更)：5/10
- ・ 会員専用ページ・70年史関係の新着情報は別に、70年史トップページに設置：5/16
- ・ 各専門部等のページに事業計画の報告と計画の枠を設けて、投稿の状況が分かるようにフォーマットを統一：7/20
- ・ 富山県弓連岡本先生より、石川県HPについて各種問合せがあり、幹部照会の上回答：7/31
- ・ 周知ボタン配下に「大会申込処理状況」のページ新設：9/26

## 2、今後の課題等議論した事項

- ホームページでの広報部からの各種提案は過去4年間でほぼ過去の会長からの提案を中心に具現化を進めてきたが、やる・やらない、できる・できない、がほぼ見えた。(あまり前向きの結果ではなかった) ⇒ 今後は、活性化していない過去の企画は終了の方向も検討する。
- ホームページは、広報部が作っているので、全ページ作成責任が広報部にあると思っている人が殆どだと思われ、広報部からの依頼がない限り、投稿はない。投稿スペースを設けても、投稿が全くないページもある。  
これを各ページの責任者を明示して、そのページの載せるべき記事は何か、活性化するためにはどうすべきかをそれぞれの責任者に時々チェックしてもらって、一人称で投稿していただく体制にすべきではないか。⇒ 次回常任理事会で提案する。
- 常任理事のリレー投稿も、投稿が滞っている。催促はしないで待つのみに対応で、今後継続しても投稿はあまり期待できないものと思われる。⇒ 次回常任理事会で、今年度で終了提案をしてみる。
- 来年度のアクセス数は、新たな企画もないので「目標：180アクセス/日を維持する」とする。

## 3、来年度の担当分担の意見交換

70周年記念誌編纂のため収集・進捗管理するページを、会員専用ページ内に設け、分担してアップすることを昨年話し合ったが、結局、特に即応性はないと考え、黒川が対応してきた。対応が煩瑣な面もあるので今後もそうする。分担の再検討は、年度末までに長田がたたき台を作って調整する。

## 4、弓道石川&弓道誌

- 弓道石川：発行は順調推移。
  - ・編集人の交代経緯の説明。後任はまだ誰だか聞いていないので知らない。
  - ・今後は、会長・理事長の方で、コントロールしていただくよう（少なくとも黒川は参画しない）に話しているので、特に引継ぎも必要ないと思っているが、必要に応じて対応していく。
  - ・年4回の発行は、これまで通りの内容で継続するのだと思います。
  - ・編集方法は、完成するまでは、編集人の間でメールを使って原本のやり取りをしていただき、完成版をチェックページにアップすることになりました。したがって、チェックページも次年度、シンプルに作成更新する予定。
  - ・チェックの方法は、今まで通り、常任理事と広報部員ですることになります。
  - ・中越さんは今まで通りだろうと思いますが、お願いします。
- 弓道誌投稿：順調に推移。
  - ・冬場の記事がなく苦戦・・・そんな時に各協会の紹介記事載せるのもいいかな。

## 5、実技編

- ・昨年も好評で、部員の中から昇段者も出ている、日程調整して実施する。

## 6、その他

- ・広報部長の進退について、弓道石川編集人交代の際に「いつでも退任します、後任含めお任せします。」と申し出ましたが、当面やれとのことなので少なくとも後一年はやることになります。
- ・来年度はメンバーの入替等もなくこのままでいく・・・将来に向け、部員拡大も検討するが、自然体では、広報部は希望者はいないので、みんなで声をかけていく。

以上